

私は日本に生まれて良かったと思っています。平和で街並みも美しい日本が好きです。でもそれは治安を守る警察官や、定期的にゴミを処分してくれる清掃業者の方々がいるからです。他にも、火災が起きた時に出動してくれる消防士さん、急な病気や怪我の時に駆けつけてくれる救急隊の皆さん、私たちにいろいろなことを教えてくれる学校の先生など、様々な人に守られて安心して暮らすことができます。これらのサービスも税金を使って行われているものです。

日本ではいろいろなものに税金がかかっています。お父さん、お母さんは私たちを育てるために毎日一生懸命働いてくれていますが、そのお給料には所得税というものがかかっています。家やマンションを買うと固定資産税というものがかかりますし、車で出かける時には燃料を入れますが、燃料にはガソリン税というものがかかっています。そして私たちが一番身近に感じるのは消費税ではないでしょうか。買ったものの値段に対して8%から10%の税金がかかっています。二〇一九年に消費税が上がったときは、払う金額が増えるので正直嫌だとも思いましたが、私たちが受ける様々なサービスの財源になっていると思ったら嫌だという気持ちも少し薄れてきました。私はお年玉やお小遣いをもらっていろいろなものを買っていますが、消費税も払っているので自分も立派な納税者だと思いました。

しかし世の中には所得を誤魔化し、払う税金を少なくしようとする人もいます。これは脱税という行為で犯罪です。国民の三大義務の一つは納税です。私たちがよい暮らしをするために税金というものは必要なものだと思います。

そして、私たちが納税したお金は必要なサービスに適切に使ってもらいたいと思います。その使い道を決めるのは政治家の方々の仕事です。無駄をなくし適正に使用してもらいたいと思います。ただ気になったのは国会中継を見ると居眠りをしていると思われる議員がいることです。議員の給料も税金で賄われています。その議員が仕事に居眠りをするのは税金の無駄使いだと思います。私たちの納めている税金が適正に使用されているのか確認していくことも、納税の義務と同時に必要なことだと思います。

私は今まで税に関して無関心でしたが、今回少し勉強しました。親に聞いたり、パソコンなどで調べたりして、いろいろな種類の税金があることや、その使い道などを知ることで、少し身近に感じることができました。今は消費税くらいしか納税していませんが将来は様々な税金を納めることになるので、今のうちから納税についての知識を身につけ、しっかり働きしっかり税金を納める、立派な納税者になりたいと思いました。